

「静岡の茶草場農法」 世界農業遺産茶草場テラスオープン記念 フォーラム

「静岡の茶草場農法」は、平成25年5月にF A Oから世界農業遺産に認定され、本年度6年目を迎えました。

また、この農法の象徴である掛川市の粟ヶ岳山頂に、観光施設及び情報発信の拠点として「世界農業遺産茶草場テラス」が、本年5月にオープンしました。

この新たな拠点が整備されたことを契機に、認定地域と実践者のさらなる活性化を推進するため、茶草場農法の魅力を再認識するフォーラムを開催します。



日時 令和元年9月11日(水) 13:00から16:00

(16:00から茶の都ミュージアム見学)

**会場 ふじのくに
茶の都ミュージアム**

多目的ホール

(所在: 島田市金谷富士見町3053番地の2)

定員 150名(先着順。どなたでもご参加いただけます。)

入場料無料

事前申込が必要です

主催 世界農業遺産「静岡の茶草場農法」推進協議会

「静岡の茶草場農法」フォーラム

日時 令和元年9月11日(水) 13:00~16:00

13:00 開会あいさつ

13:10 講演「世界業遺産の意義とその活用」
永田 明 (ながたあきら) 氏

国連大学UNU-IAS OUIK/東アジア農業遺産学会(ERAHS)日本事務局アドバイザー



(略歴)

京都府京都市出身。北海道大学農学部農学科卒業。1979年に農林水産省に入省、農村振興局資源課長、農村環境課長などを歴任。2011年から国連大学で世界農業遺産に関する研究などを担当。2019年8月から国連大学UNU-IAS OUIKの東アジア農業遺産学会日本事務局のアドバイザーとして、引き続き世界農業遺産に関する活動に従事。

14:10 講演「茶草場農法の生産性向上効果の科学的な検証と茶業振興への活用」
藤川 智紀 (ふじかわともりのり) 氏

東京農業大学地域環境科学部地域創成科学科 教授



(略歴)

兵庫県川西市出身。東京大学大学院農学生命科学研究科博士課程修了。鳥取大学 乾燥地研究センター、独立行政法人農村工学研究所(現 農研機構農村工学研究 部門)において勤務。2017年より東京農業大学地域環境科学部地域創成科学科 教授。土壌学、農地工学が専門。

15:20 報告「世界農業遺産認定以降の活動報告」

世界農業遺産「静岡の茶草場農法」推進協議会事務局

15:50 質疑応答

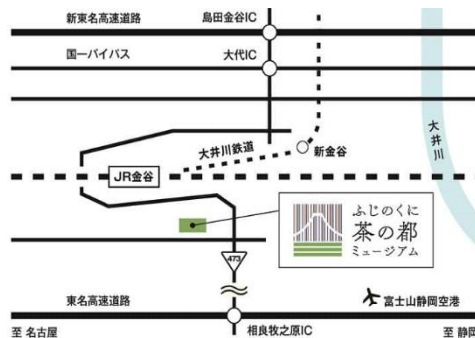
16:00 茶の都ミュージアム見学

会場案内

ふじのくに
茶の都ミュージアム

島田市金谷富士見町3053番地の2

<https://tea-museum.jp>



FAX申込書 FAX番号0537-21-1212(掛川市お茶振興課)

個人 団体 いずれかに○をつけてください	お名前 団体の場合は代表者名	フリガナ	TEL ()
	団体名 または 所属		参加希望人数 名

問い合わせ先

世界農業遺産「静岡の茶草場農法」推進協議会事務局
掛川市産業経済部お茶振興課

電話054-202-1488
電話0537-21-1216

※8月30日(金)までにお申し込みください。